



## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月26日

上場会社名 日華化学株式会社 上場取引所 東 名  
コード番号 4463 URL <https://www.nicca.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 康昌  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 澤崎 祥也 TEL 0776-24-0213 (代表)  
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	12,228	6.1	588	227.9	766	172.6	318	—
2023年12月期第1四半期	11,520	△4.2	179	△75.4	281	△69.0	27	△94.7

(注) 1. 包括利益2024年12月期第1四半期 1,277百万円 (589.3%) 2023年12月期第1四半期 185百万円 (△87.0%)  
2. 2024年12月期第1四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益の対前年同四半期増減率は1000%を超えるため「—」と記載しています。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年12月期第1四半期	円 銭 20.14	円 銭 —
2023年12月期第1四半期	1.74	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2024年12月期第1四半期	百万円 58,499	百万円 33,541	% 53.1	円 銭 1,963.88
2023年12月期	56,918	32,822	52.9	1,906.56

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 31,041百万円 2023年12月期 30,133百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	円 銭 —	円 銭 16.00	円 銭 —	円 銭 16.00	円 銭 32.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,500	6.6	2,500	22.6	2,700	6.8	1,800	6.4	113.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 1 Q	17,710,000株	2023年12月期	17,710,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	1,904,013株	2023年12月期	1,905,013株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 1 Q	15,805,237株	2023年12月期 1 Q	15,784,679株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）における世界経済は、資源価格の高騰が続く中で世界的な金融引き締め政策の継続や、ウクライナ及び中東情勢の地政学リスクによる影響が懸念される状況となっております。また、わが国経済は、個人消費の持ち直しや株価上昇の流れの中で景気は緩やかな回復基調となっておりますが、物価の上昇が継続していることで国内景気を押し下げるリスクも継続しております。

このような中、当社グループは企業パーパス「Activate Your Life」（ステークホルダーとともに、無限に広がる界面カガクのチカラで様々な社会課題を解決し、より豊かな暮らしや輝く未来に貢献すること）に基づき、中長期成長ビジョンとして『世界中のお客様から最も信頼されるイノベーション・カンパニー』を掲げております。当パーパス、ビジョンのもと3か年中期経営計画『INNOVATION25』（2023-2025）を策定し、現在、中期経営計画の5大戦略である「事業構造の大転換」「メリハリのある投資」「生産性改革」「サステナブル経営の推進」「大家族主義の進化」の推進に取り組んでいるところであります。

今後も激変していく経営環境をビジネスチャンスへと昇華し、社会からますます必要とされる価値を提供する事業に注力し永続的成長を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は12,228百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益588百万円（同227.9%増）、経常利益766百万円（同172.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は318百万円（同1,059.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

#### (化学品事業)

売上高9,043百万円（前年同期比8.8%増）、セグメント利益821百万円（同246.6%増）となりました。昨年は、繊維市場における欧米アパレルの在庫調整、中国におけるコロナ急拡大に伴う稼働率低下の影響がありましたが、今年は、アパレル市場の一部や中国市場の回復、新規ビジネス獲得、価格改定・原料コストダウンによる収益力向上などがあり、増収増益となりました。

#### (化粧品事業)

売上高は3,130百万円（前年同期比1.8%増）、セグメント利益は239百万円（前年同期比38.1%減）となりました。当社デミコスメティクスにおきましては、引き続き美容サロンの来店客数減による市況悪化の影響を受けたものの、主力ヘアケアの拡販および新メンズブランドの上市、拡販により堅調に推移いたしました。また、連結子会社におきましては、DEMI KOREA CO., LTD. における販売や山田製薬株式会社における受託事業が好調に推移いたしました。一方で、在庫変動の影響を大きく受けた事や販売関連費用の増加により利益は減少しました。

#### (その他)

売上高は53百万円（前年同期比59.8%減）、セグメント損失は4百万円（前年同期は16百万円のセグメント利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、1,580百万円増加し58,499百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が1,025百万円増加したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、861百万円増加し24,958百万円となりました。この主な要因は、借入金が558百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、718百万円増加し33,541百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定が704百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,344	9,369
受取手形、売掛金及び契約資産	11,029	11,128
商品及び製品	5,902	5,953
仕掛品	895	882
原材料及び貯蔵品	4,078	4,217
その他	838	1,130
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	31,077	32,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,787	12,699
機械装置及び運搬具（純額）	2,789	2,660
土地	5,443	5,480
その他（純額）	868	931
有形固定資産合計	21,889	21,771
無形固定資産		
その他	498	521
無形固定資産合計	498	521
投資その他の資産		
その他	3,452	3,534
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,452	3,534
固定資産合計	25,841	25,827
資産合計	56,918	58,499

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,895	6,048
短期借入金	4,100	5,225
1年内返済予定の長期借入金	1,518	993
未払法人税等	264	375
賞与引当金	835	379
役員賞与引当金	—	4
その他	3,161	3,617
流動負債合計	15,776	16,643
固定負債		
長期借入金	3,652	3,610
退職給付に係る負債	3,461	3,474
株式報酬引当金	187	172
その他	1,019	1,057
固定負債合計	8,320	8,314
負債合計	24,096	24,958
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898	2,898
資本剰余金	2,951	2,980
利益剰余金	22,145	22,210
自己株式	△1,429	△1,428
株主資本合計	26,566	26,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	595	694
為替換算調整勘定	3,140	3,845
退職給付に係る調整累計額	△169	△160
その他の包括利益累計額合計	3,567	4,379
非支配株主持分	2,689	2,500
純資産合計	32,822	33,541
負債純資産合計	56,918	58,499

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	11,520	12,228
売上原価	7,922	7,959
売上総利益	3,598	4,268
販売費及び一般管理費	3,418	3,680
営業利益	179	588
営業外収益		
受取利息	9	17
受取配当金	3	1
持分法による投資利益	1	5
為替差益	—	74
その他	124	93
営業外収益合計	138	192
営業外費用		
支払利息	8	9
為替差損	22	—
その他	5	4
営業外費用合計	36	14
経常利益	281	766
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
固定資産売却損	0	0
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	281	766
法人税等	225	376
四半期純利益	56	390
非支配株主に帰属する四半期純利益	29	71
親会社株主に帰属する四半期純利益	27	318

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	56	390
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	99
為替換算調整勘定	151	779
退職給付に係る調整額	10	8
その他の包括利益合計	128	887
四半期包括利益	185	1,277
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111	1,130
非支配株主に係る四半期包括利益	73	146

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,310	3,076	11,387	133	11,520
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	40	40
計	8,310	3,076	11,387	173	11,560
セグメント利益又は損失（△）	237	386	623	16	639

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	623
「その他」の区分の利益又は損失（△）	16
セグメント間取引消去	△1
全社費用（注）	△459
四半期連結損益計算書の営業利益	179

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,043	3,130	12,174	53	12,228
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1	1	33	34
計	9,043	3,132	12,175	86	12,262
セグメント利益又は損失（△）	821	239	1,060	△4	1,056

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,060
「その他」の区分の利益又は損失（△）	△4
セグメント間取引消去	9
全社費用（注）	△477
四半期連結損益計算書の営業利益	588

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。